

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成28年6月22日 午後7時00分から午後8時45分まで
3 会場	西部公民館 1階大ホール
4 出席者	五十嵐委員、石塚委員、小市委員、小宮山委員、渋谷委員、清水委員、高橋委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、塚本委員、久田委員、平石委員、堀内委員、宮川委員、宮崎委員、宮下委員、向山委員、母袋委員、山崎委員、横関委員
5 市側出席者	水野地域振興政策幹、北沢市民参加・協働推進課長補佐、小林市民参加・協働推進担当係長、樋口市民参加・協働推進担当主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年7月4日

協 議 事 項 等

会議次第

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) わがまち魅力アップ応援事業の審査方法について

- ・事務局から事業概要、審査方法等について説明
- ・以下、質疑応答

(委員) 今回1件のみの申請なので、地域活性化の観点からは事業を実施していただきたいと考えるが、その場合審査の判断を甘くしてもいいのか。

(事務局) 財源は税金であるため決して判断を甘くするのではなく、事業内容を判断していただき、選考要領に沿った審査をお願いしたい。

(2) 地域内分権(先進地事例)について

- ・事務局から、地域内分権の先進地事例について説明
- ・以下、質疑応答

(委員) 市の目指す地域内分権とは何か。

(事務局) 将来の人口減少で、今までの行政サービスをご提供することが難しくなっていくと考えられる。また、市民の皆様からのニーズも多様化しており、きめ細かなサービスの提供も難しくなっている。このような状況の中、地域で出来ることは地域の皆様が主体的に動いていただくことで、より地域が活性化すると考えている。

(委員) 自治会だけでは出来なかったことを皆さんの力でまとめていく。住みよいまちづくりを目指す目的で進めていった方が進みやすいと思う。西部地区には振興協議会があるので、その方達にも協力していただき進めていきたい。

(委員) 将来像が分からない。先進地の事例を見ても各種団体を集めている。将来的に自治会や地域協議会はどうなっていくのか。

(事務局) 地域協議会については、市の付属機関という位置づけになっているが、住民自治組織ができた後のあり方は課題と捉えている。自治会については、住民自治組織が設立されてもなくなるという訳でない。現在の自治会活動は継続して行なうなかで、連携して行うことで効果が上がるというものについて住民自治組織で取り組むという認識である。

(委員) 先進地の活動事例と比較すると、公民館活動とかなり重複する部分があるが、将来的に分けていくのか、一緒にやっていくのか。

(事務局) 重複しては非効率なので、すみわけは当然必要になる。設立後に試行錯誤しながら協議していく部分である。

(委員) 西部地域は他地域と比べ進んでいない。ここは一步進めて動かしたほうがいいのではないかな。

(委員) 自治会役員の皆さんも組織の構成委員になると思うが、負担が重くなるのではないかな。

(事務局) 住民自治組織設立当初は委員の負担が若干増えてしまうと感じているので、なるべく負担を軽減する中で、交付金を活用していただき、地域の活性化を図っていただけるように協議している。

(委員) 負担が増えるのは確かなことだが、新しい組織を立ち上げるので当然なこと。それは理解している。

(委員) 自治連と地域協議会という組織について、連携が不十分。旗振りはどこがやるのかという問題になってくる。地域内分権についての考え方をもっともっと聞いていかないといけない。

(委員) 今まで行政の説明不足で、私たちの理解不足であった。もっともっと明確な説明をしてほしい。

(委員) 地域協議会は様々な分野の方々の代表者が集まっているので、地域協議会が主導権を握ればよいかと考えたが、実行部隊ではないので難しい。地区自治会連合会で口火を切っていければと考えている。少し時間をかけて協議しながら、地区自治会連合会相互の合意をもって検討していきたい。

(3) その他

- ・特になし

4 報告事項

(1) 西部公民館施設設備事業について

- ・事務局から、西部公民館施設設備事業の進捗状況について報告

5 その他

(1) 今後の予定

ア 第4回西部地域協議会

(ア) 日時 平成28年7月19日(火)午後7時から

(イ) 場所 西部公民館1階大ホール(和室)

イ 第5回西部地域協議会

(ア) 日時 平成28年8月26日(金)午後7時から

(イ) 場所 西部公民館1階大ホール(和室)

(2) その他

6 閉会